

ミニディスクロージャー誌
平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日

第100期 営業の中間ご報告

いちばんに、あなたのこと。

 豊和銀行



豆田町 日田市



いちばんに、あなたのこと。

Contents

トップメッセージ	1
業績ハイライト	2
経営強化計画の数値目標と進捗状況	4
中間財務諸表	5
金融仲介機能のベンチマークについての実績	6
地域の皆さまとともに	9
株式についてのご案内・各種お問い合わせ	12
店舗・ATM等のご案内	13

プロフィール

(平成29年9月30日現在)

名 称	株式会社豊和銀行
創 業	昭和24年12月22日
本店所在地	大分市王子中町4番10号
資 本 金	124億円
店 舗 数	42か店(大分県39、福岡県2、熊本県1)
従 業 員 数	517名(嘱託、出向、臨時従業員を除く)

経営理念

● Contribution : 貢献

わたくしたち 豊和銀行は、地域の発展に貢献します。

● Customers : お客様第一主義

わたくしたち 豊和銀行は、お客様に質の高いサービスを提供します。

● Challenge & Change : 挑戦と変革

わたくしたち 豊和銀行は、たゆまぬ挑戦と変革により、未来を切り開きます。

🌸 イメージキャラクター 🌸

当行のイメージキャラクター
“5匹のきょうだいネコ”です。

よろしくニャ!



カリルーニャ
(長男)



タメルニャ
(長女)



フヤサーニャ
(次男)



ソナエーニャ
(次女)



ベンリーニャ
(三男)

トップメッセージ

まず、冒頭にあたりまして、本年7月の九州北部豪雨並びに9月の台風第18号で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を切に願っております。当行は被災された皆さまに対し様々なご支援をさせていただいておりますので、ご遠慮なく営業店窓口等にお問い合わせください。

さて、皆さまには、日頃より、当行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

ここに、第100期中間期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の営業の概況と決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

当中間期における国内経済は、所得・雇用環境の着実な改善等による個人消費の回復、堅調な企業業績、生産・輸出の持ち直し等に支えられ、緩やかな景気回復が続きました。

金融環境については、株価・金利・為替とも概ね安定的に推移しました。

そのような中、当行の主要な営業基盤である大分県経済は、九州北部豪雨や台風第18号により交通インフラの寸断や住宅等への甚大な被害が発生し、特に観光面などで悪影響がみられ、今後の見通しも予断を許しません。雇用情勢の改善による個人消費の回復が続いていることから、引き続き緩やかな景気回復基調にあります。

このような経営環境のもと、平成28年4月～平成31年3月を実施期間とする経営強化計画では、「地域への徹底支援による地元経済の活性化」を基本方針に据え、これを実現させるために「地域への徹底支援による地方創生への取組み」「営業力・収益力の強化」「経営基盤の強化」を取組方針として定め、地元のお取引先への経営改善支援等を中心として、事業再生・創業新事業及び成長発展に向けたご支援を実践しております。

また、地元のお取引先に対する円滑な資金供給と、経営改善支援という地域金融機関としての責務を引き続き果たしていくためには、更なる自己資本の質的・量的な充実を図る必要があると考え、A種優先株式6,000百万円を取得するとともに、新たにE種優先株式を7,997百万円発行しました。

最良の「お客さま本位」の業務運営を目指し今後とも精進してまいりますので、皆さまにおかれましては、当行に対し、今後とも、なお一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取

権藤 淳

平成29年12月

業績ハイライト

◆預金・預り資産の状況（平成29年9月末現在）

●預金（譲渡性預金を含む）



●預り資産（投資信託・個人年金保険・公共債）



◆貸出金の状況（平成29年9月末現在）

●貸出金（中小企業等向け貸出金）



●大分県内向け貸出金



●個人向け貸出金



用語説明

- ・中小企業等向け貸出金… 資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、サービス業、小売業、飲食業は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし、卸売業、サービス業は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業及び個人に対する貸出金をいいます。

業績ハイライト

◆損益の状況

●コア業務純益



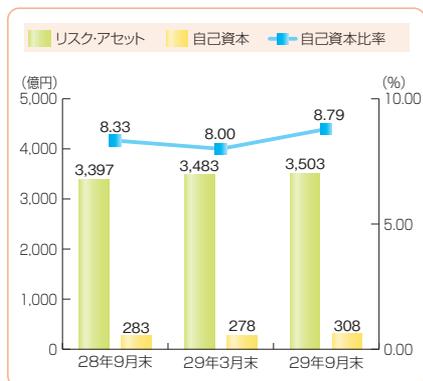
●経常利益



●中間純利益

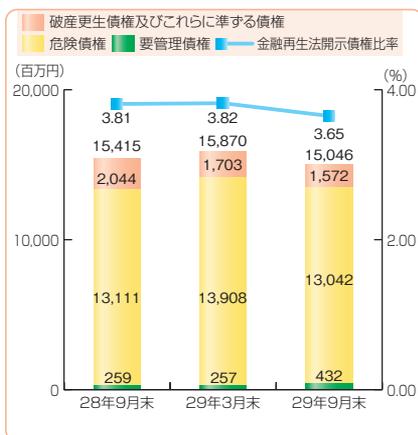


◆自己資本比率の状況

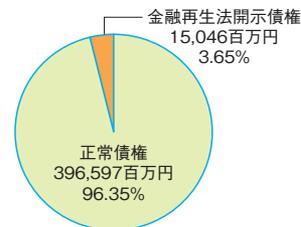


◆不良債権の状況

●金融再生法に基づく開示債権比率



●金融再生法に基づく開示債権の構成比 (平成29年9月末現在)



総与信額 411,644百万円

※部分直接償却を実施しない場合の29年9月末の金融再生法開示債権比率は5.08%となります。

用語説明

- **自己資本比率**…銀行の健全性を示す指標のひとつで、国内基準と国際統一基準があります。当行は国内基準を適用しております。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本（資本金など）}}{\text{リスク度合いを考慮した資産}}$$

- **金融再生法による開示債権の定義**

破産更生債権及びこれらに準ずる債権…破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
 危険債権…債務者が経営破綻には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約どおりの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権。
 要管理債権…3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

経営強化計画の数値目標と進捗状況

当行では、平成28年4月から平成31年3月を実施期間とする「経営強化計画」を策定し、「地元大分になくてはならない地域銀行」となるため、「地域への徹底支援による地元経済の活性化」を基本方針に据え、諸施策に取り組んでおります。

経営強化計画において掲げた「経営の改善の目標」及び「地域経済の活性化に資する方策に係る目標」の実績は以下のとおりとなりました。

1. 経営の改善の目標

(単位：百万円、%)

	28/3期 実績	28/9期 実績	29/3期 実績	29/9期 (速報値)			30/3期 計画	30/9期 計画	31/3期 計画
				計画	実績	計画比			
コア業務純益	2,870	870	1,679	1,135	773	△362	2,434	1,513	3,031
業務粗利益経費率	53.02	64.45	63.80	61.00	64.53	+3.53	60.15	55.42	53.01

※コア業務純益＝業務純益－一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

※業務粗利益経費率＝(経費－機械化関連費用)÷業務粗利益

2. 地域経済の活性化に資する方策に係る目標

○中小規模事業者等向け貸出残高、総資産に対する比率

(単位：億円、%)

	28/3末 実績	28/9末 実績	29/3末 実績	29/9末 (速報値)			30/3末 計画	30/9末 計画	31/3末 計画
				計画	実績	計画比			
中小規模事業者等向け貸出 残高	2,294	2,267	2,328	2,428	2,353	△75	2,489	2,540	2,600
総資産残高	5,596	5,641	5,685	5,671	5,818	+147	5,737	5,813	5,860
総資産に対する比率	40.99	40.19	40.95	42.82	40.44	△2.38	43.39	43.70	44.37

※総資産に対する比率＝中小規模事業者等向け貸出残高÷総資産残高

※「中小規模事業者等向け貸出」とは、銀行法施行規則第19条の2第1項第3号ハに規定する別表第一における中小企業等から個人事業者以外の個人を除いた先に対する貸出で、かつ次の貸出を除外しております。

政府出資主要法人向け貸出、特殊法人向け貸出、土地開発公社向け貸出、地方住宅供給公社向け貸出、地方道路公社向け貸出、大企業が保有する各種債権又は動産・不動産の流動化スキームに係るSPC向け貸出、当行の子会社向け貸出、当行を子会社とする銀行持株会社等(その子会社も含む)向け貸出、子会社に大会社を有する親会社向け貸出、及びその他金融機能強化法の趣旨に反するような貸出

○経営改善支援等取組先企業数、取引先企業総数に占める比率

(単位：先、%)

	27年度下期 実績	28年度上期 実績	28年度下期 実績	29年度上期 (速報値)			29年度下期 計画	30年度上期 計画	30年度下期 計画
				計画	実績	計画比			
経営改善支援等取組先 企業数	407	359	522	431	472	+41	445	448	450
創業・新事業開拓支援	83	104	84	85	83	△2	86	86	86
経営相談支援	74	87	153	101	105	+4	113	113	113
うち販路開拓コン サルティング	—	—	22	20	9	△11	31	31	31
早期事業再生支援	13	13	13	12	14	+2	13	13	15
担保・保証に過度に依 存しない融資の促進	220	146	255	227	256	+29	227	230	230
事業承継支援	17	9	17	6	14	+8	6	6	6
取引先企業総数	5,625	5,620	5,754	5,685	5,862	+177	5,705	5,725	5,745
取引先企業総数に占める 比率	7.23	6.38	9.07	7.58	8.05	+0.47	7.80	7.82	7.83

※取引先企業総数に占める比率＝経営改善支援等取組先企業数÷取引先企業総数

※取引先企業総数は融資残高のある先で、個人ローンだけの取引先を含んでおりません。「創業・新事業開拓支援」、「経営相談支援」、「早期事業再生支援」、「担保・保証に過度に依存しない融資の促進」、「事業承継支援」の先数は、半期分を記載しております。



中間財務諸表

■ 中間貸借対照表 (平成29年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	67,587	預金	528,025
有価証券	104,185	譲渡性預金	7,545
貸出金	405,017	借入金	11,726
外国為替	424	外国為替	0
その他資産	2,187	その他負債	2,246
有形固定資産	7,600	賞与引当金	149
無形固定資産	206	睡眠預金払戻損失引当金	199
前払年金費用	609	再評価に係る繰延税金負債	822
繰延税金資産	370	支払承諾	679
支払承諾見返	679	負債の部合計	551,393
貸倒引当金	△7,038	(純資産の部)	
		資本金	12,495
		資本剰余金	10,349
		資本準備金	10,349
		利益剰余金	5,592
		利益準備金	708
		その他利益剰余金	4,883
		繰越利益剰余金	4,883
		自己株式	△88
		株主資本合計	28,348
		その他有価証券評価差額金	385
		土地再評価差額金	1,702
		評価・換算差額等合計	2,087
		純資産の部合計	30,435
資産の部合計	581,829	負債及び純資産の部合計	581,829

■ 中間損益計算書

(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	5,093
資金運用収益	3,995
（うち貸出金利息）	3,683
（うち有価証券利息配当金）	292
役員取引等収益	594
その他業務収益	45
その他経常収益	457
経常費用	4,327
資金調達費用	209
（うち預金利息）	207
役員取引等費用	599
その他業務費用	14
営業経費	3,004
その他経常費用	499
経常利益	765
特別利益	6
特別損失	187
税引前中間純利益	585
法人税、住民税及び事業税	7
法人税等調整額	90
法人税等合計	98
中間純利益	486

金融仲介機能のベンチマークについての実績

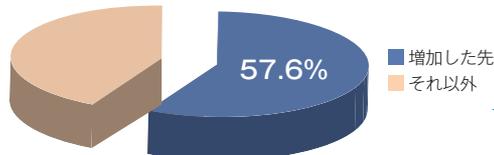
金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標として「金融仲介機能のベンチマーク」※を策定・公表いたしました。当行は今後も同ベンチマークを活用し当行の取組みについて自己点検を行ない、地域活動の活性化に貢献してまいります。

※「金融仲介機能のベンチマーク」は、金融機関の地域への貢献度を客観的に測る指標として金融庁が平成28年9月に導入したものです。

1. お客さまの経営改善や成長力の強化

	平成28年3月期	平成29年3月期	増減
① 当行をメインバンクとしてお取引いただいている企業	1,630先	1,649先	+19先
② ①のうち、売上高の増加もしくは従業員数の増加が見られた先数	840先	949先	+109先
③ ①に対する融資額	1,708億円	1,706億円	▲2億円

売上高もしくは従業員数が増加したメイン先



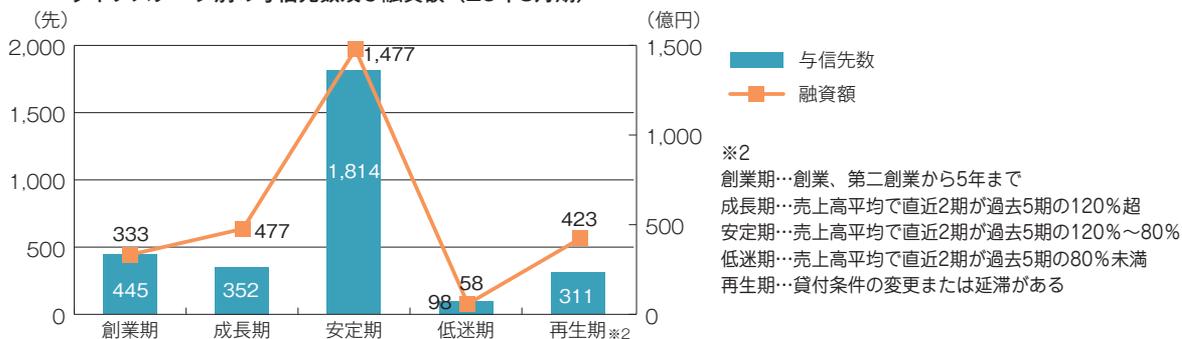
当行をメインバンクとしてお取引いただいている企業のうち、半数以上の企業で売上高もしくは従業員数が増加しています。

2. お客さまの抜本的事業再生等による生産性の向上

	平成28年3月期	平成29年3月期	増減
① 当行が貸付条件の変更を行なっている中小企業のうち、経営改善計画の進捗が順調な先※1	270先 (貸付条件変更先：404先)	317先 (貸付条件変更先：392先)	+47先
② 当行が関与した創業、第二創業	185先	188先	+3先
③ 当行の与信先数及び融資額	与信先数 2,940先 融資残高 2,789億円	与信先数 3,020先 融資残高 2,769億円	+80先 ▲20億円
④ ③のうち、低迷期・再生期	与信先数 434先 融資残高 494億円	与信先数 409先 融資残高 481億円	▲25先 ▲13億円

※1 経営改善計画の進捗が順調な先（好調先、順調先）
好調先…売上計画に対し120%超の進捗 順調先…売上計画に対し80%～120%の進捗

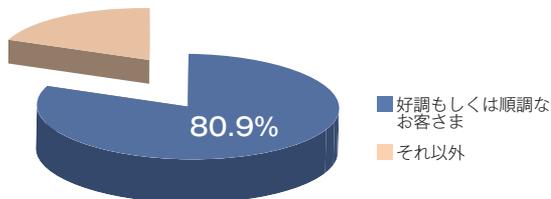
ライフステージ別の与信先数及び融資額（29年3月期）



※2
創業期…創業、第二創業から5年まで
成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超
安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%
低迷期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満
再生期…貸付条件の変更または延滞がある

金融仲介機能のベンチマークについての実績

経営改善計画の進捗が順調なお客さま



当行が貸付条件の変更を行なっているお客さまのうち、8割は経営改善計画の進捗が順調です。

3. 担保・保証に依存した融資姿勢からの転換

		平成28年3月期	平成29年3月期	増減
当行が事業性評価に基づく融資*を行なっている先	与信先数	110先	145先	+35先
	全事業性与信先に占める割合	3.7%	4.8%	+1.1%
	融資残高	102億円	103億円	+1億円
	全事業性与信先の融資残高に占める割合	3.7%	3.7%	±0%

*合理的で実現可能性の高い「経営改善計画」を策定するなど、経営改善が見込めるお客さまに対し、同計画に基づき、お客さまの経営改善に必要な新規融資をプロパー貸出で対応する商品「経営改善応援ファンド」をご融資した先。

経営改善応援ファンドを活用し、経営改善に必要な新規融資をご提供しております。

4. 地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

	平成28年3月期		平成29年3月期		増減	
	地元	地元外	地元	地元外	地元	地元外
全取引先数	2,984先		3,080先		+96先	
地域別の取引先数の推移	2,753先	231先	2,843先	237先	+90先	+6先

お客さまの9割以上が大分県内のお客さまとなっております。

5. お客さまの本業支援に向けた体制づくり

	平成28年3月期	平成29年3月期	増減
中小企業向け融資や本業支援を主に担当している営業店従業員数の割合	52.3%	53.3%	+1.0%
中小企業向け融資や本業支援を主に担当している本部従業員数の割合	27.0%	25.4%	▲1.6%
全体	44.7%	44.7%	±0%

お客さまの本業支援に貢献するため、全体の4割にあたる従業員が中小企業向け融資や本業支援業務を担当しております。

金融仲介機能のベンチマークについての実績

6. お客様の本業支援を支える支店の業績評価

	平成29年3月期
取引先の本業支援に関連する評価について、支店の業績評価に占める割合	21.6%

お客様の本業支援に貢献するため、業績評価全体の2割を本業支援に関する項目としております。

7. お客様のニーズに基づいたサービスの提供

	平成29年3月期
販路開拓コンサルティング（Vサポート）※の契約数及び全取引先数に占める割合	契約先 22先 割合 0.71%
販路開拓コンサルティング（Vサポート）により売上が発生した先数	7先（31.8%）
販路開拓コンサルティング（Vサポート）により発生した売上額	2,094千円（20件）
販路開拓コンサルティング（Vサポート）契約先で、売上高改善が見られた企業数	7先

お客様の販路開拓に向けてご支援いたします!!

※販路開拓コンサルティング（Vサポート）
お客様の売上を増やすために、当行のネットワークを活用して新たな販売見込先への販路開拓をご支援し、交渉段階から売上入金まで当行が関与するコンサルティング業務です。平成28年11月より取組みを開始しております。



販売見込先
選定紹介

商品説明
情報提供

条件交渉
商談アレン

売買成立

売上入金

	平成28年3月期	平成29年3月期	増減
運転資金に占める短期融資※の割合	20.1%	20.1%	±0%

※ご融資日から起算し、返済期日までの期間が1年以内であるご融資

お客様のニーズに基づき、迅速なご融資を提供します。

8. 事業再生に向けた支援目的の債権処理

	平成28年3月期	平成29年3月期	増減
事業再生に向けた支援目的の債権処理※	1,967百万円	2,271百万円	+304百万円

※事業再生に係る債権放棄額（事業再生ファンド活用による債権譲渡を含む）、DDS等の活用、その他（事業再生のため先行的に引当処理を行なった額）を計上しております。

お客様の事業再生に向け、地域の商流に十分配慮しつつ、経営改善に繋がる取組みを行なってまいります!!



地域の皆さまとともに

◆平成29年7月九州北部豪雨・平成29年台風第18号により被災された皆さまへ◆

平成29年7月の九州北部豪雨、9月の台風第18号により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。当行では、被災されたお客さまからのお問い合わせやご相談を承っておりますので、お気軽に窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口	受付時間
当行営業店窓口	平日 9:00 ~ 15:00
お客さま相談室（フリーダイヤル：0120-308-329）	平日 9:00 ~ 17:00
ほうわホルトホールプラザ（097-546-5777）	平日 10:00 ~ 19:00、土日祝日 10:00 ~ 17:00

被災された皆さまへのご融資のご案内

事業者さま向けの「ほうわ災害復興支援ファンド」、個人のお客さま向けの「災害復興応援ローン」など、災害復旧に関する様々な資金ニーズにお応えします。

また、被災により借入金の返済が困難となった個人のお客さまは災害救助法の適用により、住宅ローンなどの免除・減額を申し出ることができます。詳しくは、お取引のある当行営業店窓口にお問い合わせください。

◆◆◆ 商談会 ◆◆◆

□「地方創生『食の魅力』発見商談会2017」開催

平成29年6月、「地方創生『食の魅力』発見商談会2017」を開催いたしました。当行を含む第二地方銀行加盟行30行とリッキービジネスソリューション株式会社が主催した当商談会は今回で7回目の開催となり、多くの参加者が成約を得ることで高い評価を受けています。首都圏開催の大規模な商談会ということで全国に向けた販路開拓に繋がる機会をご提供しました。



□「九州ハイウェイ大商談会」開催

平成29年7月、「九州ハイウェイ大商談会」を西日本高速道路株式会社、西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社、西日本シティ銀行、長崎銀行との共催で開催いたしました。当商談会は、お客さまの販路開拓及び地場産業の振興寄与を目的としており、九州内各県の高速道路サービスエリア・パーキングエリア運営事業者との個別商談の機会をご提供しました。



◆◆◆ CSR 活動 ◆◆◆

□ 「第10回 NPO 団体への助成金制度」 助成金贈呈

当行では平成20年度より、大分県の環境保全、文化振興、福祉・生活の向上に役立てていただき「ゆたか」な社会を築いていく一助としていただくことを目的とし、「NPO 団体への助成金制度」を毎年実施しております。10回目となる今回は、地道な社会福祉活動や環境保護、生活・教育の向上等の特色を活かしたお取組みをされている4団体を助成団体に決定し、平成29年9月に当行本店において助成金贈呈式を行いました。



□ 「第16回アントレプレナーシップセミナー for Kids」 開催

平成29年8月、大分大学産学官連携推進機構が主催する「第16回アントレプレナーシップセミナー for Kids」に協力機関として参加いたしました。

子どもたちが「会社を作ることから、商品の仕入、販売、決算まで」という経済の流れを疑似体験することで、子どもたちの起業家精神の醸成、企業活動に対する理解の一助を目指す当セミナーでは、一連のプロセスを通してお金に関する基本的な知識や、“失敗を恐れずに挑戦する心” “自分の考えで行動できる力” “チームワークの大切さ” “他人を評価し尊重する気持ち” を学ぶ機会となりました。



□ 「夏休み親子スクール」 開催

平成29年8月、大分県金融広報委員会との共催で「夏休み親子スクール」を開催いたしました。当スクールは、子どもたちに健全な金銭感覚を身につけてもらうとともに、生活に身近なお金の役割・流れ・大切さなどについて、理解・関心を深めてもらうことを目的としています。

参加した子どもたちは「一億円（模型）を持ってみよう！体験」、「お買いものピンゴゲーム」、名刺交換、札勘、銀行内部の見学など、多くの体験を通してお金の大切さ、銀行の働きなどについて楽しく学ぶことができました。



◆ ◆ ◆ セミナー ◆ ◆ ◆

□ 「貸貸経営セミナー」開催

平成29年6月、日本管理センター株式会社との共催で「貸貸経営セミナー」を開催いたしました。

貸貸経営者・投資家等の方々を対象に、貸貸経営の極意や税金対策等に関する講演を行ない、お客さまへの有益な情報提供の場となりました。



□ 「豊和銀行×よろず支援拠点 ミニセミナー」開催

ほうわホルトホールプラザにて、当行と大分県よろず支援拠点との共催でミニセミナーを随時開催しております。大分県よろず支援拠点は無料経営相談所として中小企業者の支援を行なっている機関です。当セミナーではよろず支援拠点のアドバイザーが講師を務め、分かりやすく疑問にお答えいたします。開催予定のセミナーにつきましては、当行ホームページにてご確認ください。

◆ ◆ ◆ トピックス ◆ ◆ ◆

□ 「次世代認定マーク（愛称『くるみん』）」取得

平成29年7月、当行が「次世代認定マーク（愛称『くるみん』）」を取得いたしました。この認定は、次世代育成支援対策推進法に基づき、企業が従業員の仕事と子育ての両立支援等の取組みを策定・実施し、その目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合に取得できるものです。当行では、ワークライフバランスの充実に向け、従業員の仕事と子育ての両立支援や多様な働き方のニーズに対応できる取組みに努めてまいります。



□ 「^{ふな}ないばっちゃん^{ちん} 第33回府内戦紙」参加

平成29年8月に開催された「第33回府内戦紙」に総勢約160人で参加しました。

当行は「^{らいじんぐ}雷神ing^{さん} SUN~青いイナズマ~」のテーマのもと、明るく勇ましい山車と踊りを披露し、地域の皆さまと一体となって府内戦紙を盛り上げました。



株式についてのご案内・各種お問い合わせ

株式事務のご案内

- 事業年度**：毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：毎年6月
基準日：定時株主総会、期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
株主名簿管理人：東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所：東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
単元株式数：1,000株
公告方法：電子公告により当行ホームページ（<http://www.howabank.co.jp/>）に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告ができない場合には、日本経済新聞及び大分市において発行する大分合同新聞に掲載して行ないます。

（郵便物送付先・お問い合わせ先）

郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324

（ご注意）

証券会社等をご利用の場合は、住所変更や買取請求等は引き続きご利用の証券会社等へご連絡願います。未払配当金については、上記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

単元未満株式の買増制度のご案内

当行は、単元未満株式ご所有の皆さまのご便宜をはかるため、「単元未満株式の買増制度」を実施しております。単元未満株式ご所有の株主さまにおかれましては、次の制度概要をご参照のうえ、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

- 単元未満株式の買増制度
当行の単元株式数（1,000株）に満たない株式をご所有の株主さまは、お手元の単元未満株式と併せて単元株式数になる数の株式を買増することができます。
- 買増請求の方法
 - 証券会社をご利用の場合
証券会社をご利用の場合には、取引のある証券会社へお申し出ください。
 - 特別口座をご利用の場合
みずほ信託銀行（フリーダイヤル0120-288-324）へお問い合わせください。
- 買増請求の受付停止期間
毎年3月31日から起算して10営業日前から3月31日までの間、及び9月30日から起算して10営業日前から9月30日までの間は、買増請求の取扱いを停止いたします。また、買増請求された株式数が、当行の保有する自己株式数を超えるに至ったときは受付を停止いたします。
- その他
単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたします。証券会社等をご利用の場合も、単元未満株式の買取・買増請求の取扱停止期間が設けられます。

各種お問い合わせ

◆通帳、キャッシュカード等の紛失・盗難について

平日 8:30～17:00 … 各お取引店
上記時間帯以外 … ATM 照会センターまたは
CD 紛失共同受付センター
【フリーダイヤル 0120-188-668】

◆インターネットバンキング・モバイルバンキングについて

平日 9:00～17:00 … 事務統括部
【フリーダイヤル 0120-080-848】

◆各種商品について

平日 9:00～17:00 … 各お取引店
平日 10:00～19:00 … ほうわホルトホールプラザ
土日祝日 10:00～17:00 【TEL: 097-546-5777】

◆ご意見・ご要望等について

平日 9:00～17:00 … お客さま相談室
【フリーダイヤル 0120-308-329】

◆金融円滑化について

金融円滑化相談窓口 … 全営業店設置
(平日 9:00～15:00)
金融円滑化相談専用 … 0120-225-027
フリーダイヤル (平日 9:00～17:00)
金融円滑化苦情相談 … 0120-135-122
専用フリーダイヤル (平日 9:00～17:00)

◆当行ホームページ

<http://www.howabank.co.jp/>

店舗・ATM等のご案内 (平成29年11月30日現在)

店舗内・店舗外ATM：●土曜日の稼働店 ●土曜・日曜・祝日の稼働店 ★通帳繰越機能付※ ◆視覚障がい者対応ATM（ハンドセット方式）
 ※通帳繰越機能付ATMで繰越可能な通帳は、普通預金通帳（シルバー）及び総合口座通帳（ゴールド）のみです。

■店舗

大分市	1	本店営業部	097(534)2612	●	★	◆
	2	県庁前支店	097(532)9155	●	★	◆
	3	上野支店	097(545)0088	●	★	◆
	4	古国府支店	097(545)7511	●	★	◆
	5	大道支店	097(545)1101	●	★	◆
	6	南大分支店	097(543)6116	●	★	◆
	7	寒田支店	097(569)1811	●	★	◆
	8	戸次支店	097(597)6288	●	★	◆
	9	宗方支店	097(541)5211	●	★	◆
	10	わさだ支店	097(586)1771	●	★	◆
	11	富士見が丘支店	097(541)4343	●	★	◆
	12	光吉支店	097(568)2460	●	★	◆
	13	箕来支店	097(549)2441	●	★	◆
	14	東支店	097(558)2121	●	★	◆
	15	明野支店	097(558)6366	●	★	◆
	16	牧支店	097(552)1137	●	★	◆
	17	下郡支店	097(567)2233	●	★	◆
	18	鶴崎支店	097(527)3181	●	★	◆
	19	鶴崎南支店	097(522)3040	●	★	◆
	20	大在支店	097(593)1655	●	★	◆
別府市	21	別府支店	0977(23)4361	●	★	◆
	22	新別府支店	0977(22)1221	●	★	◆
	23	石垣支店	0977(25)5311	●	★	◆
	24	亀川支店	0977(66)1151	●	★	◆
築日・国・東杵	25	日出支店	0977(72)2821	●	★	◆
	26	杵築支店	0978(62)3040	●	★	◆
	27	国東支店	0978(72)1221	●	★	◆
大分県南部	28	佐伯支店	0972(22)1920	●	★	◆
	29	津久見支店	0972(82)3101	●	★	◆
	30	白杵支店	0972(62)3171	●	★	◆
	31	三重支店	0974(22)7111	●	★	◆
32	竹田支店	0974(63)2125	●	★	◆	
西大分県	33	日田支店	0973(22)5121	●	★	◆
	34	玖珠支店	0973(72)6655	●	★	◆
	35	湯布院支店	0977(28)8171	●	★	◆
大分県北部	36	中津支店	0979(23)3223	●	★	◆
	37	宇佐支店	0978(32)3311	●	★	◆
	38	長洲支店	0978(38)1136	●	★	◆
39	高田支店	0978(22)2680	●	★	◆	
熊本県	40	福岡支店	092(291)0831	●	★	◆
	41	北九州支店	093(931)8841	●	★	◆
42	熊本支店	096(366)7101	●	★	◆	

■ATM

大分市	マルシヨク東大道店	●	◆	
	トキハ会館	●	◆	
	大分市役所	●	◆	
	大分県庁	●	◆	
	JR 大分駅	●	◆	
	寒田支店敷戸出張所	●	◆	
	トキハインダストリー大分センター	●	◆	
	大分県立病院	●	◆	
	イオン光吉店	●	◆	
	トキハわさだタウン	●	◆	
由布市	大在支店佐賀関出張所	●	◆	
	パークプレイス大分	●	◆	
	イオン高城店	●	◆	
	トキハインダストリー朝野センター	●	◆	
	コープふらいる	●	◆	
	日本文理大学	●	◆	
	アムス大在店	●	◆	
	イオン探間ショッピングセンター	●	◆	
	ゆめタウン別府	●	◆	
	えきマチ1丁目	●	◆	
別府市	トキハ別府店	●	◆	
	別府市役所	●	◆	
	トキハインダストリー鶴見園店	●	◆	
	新別府病院	●	◆	
国杵	マルシヨク大学通り店	●	◆	
	スギノイパレス	●	◆	
	溝部学園	●	◆	
東杵	国東支店安岐出張所	●	★	◆
	サンリブ杵築店	●	◆	
南大分県	大分空港ターミナルビル	●	◆	
	トキハインダストリー佐伯店	●	◆	
北大分県	マルシヨク津久見店	●	◆	
	サンリブ竹田店	●	◆	
熊本県	イオン三光ショッピングセンター	●	◆	
	ハイパーモールメルクス宇佐	●	◆	
	マックスパリュ豊後高田店	●	◆	
	中津支店豊前出張所	●	★	◆



●ゆうちょ銀行ATM・コンビニATM

全国のゆうちょ銀行ATM、セブン銀行ATM、ローソンATMをご利用いただけます。



※ほうわサックスサービス「ファーストステージ」、「セカンドステージ」のお客さまは、ご利用手数料が無料です。
 上記以外のお客さまは所定の手数料が必要となります。

●提携金融機関ATM

西日本シティ銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、熊本銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行のATM・CDからのお引出しが手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用できる時間 平日8:45~18:00

※上記時間以外のご利用には時間外手数料、お振込みの場合には所定の手数料が別途必要となります。

※ご利用時間及びサービス内容は設置場所によって異なります。
 詳細は営業店窓口へお問い合わせいただくか、当行ホームページをご覧ください。

■ほうわホルトホールブラザ

大分市	ほうわホルトホールブラザ	097(546)5777	●	★	◆
-----	--------------	--------------	---	---	---

いちばんに、あなたのこと。



豆田町（日田）

日田では、山々から流れる綺麗な水が豊富に集まって筑後川となることから、古来より「水郷日田」として知られています。そんな日田の、古き良き町並みを感じられる「豆田町」は、江戸時代には幕府直轄地の天領として日田代官所が置かれた城下町です。江戸末期から昭和初期にかけての商家や土塀が多く残り、「九州の小京都」とも呼ばれています。付近にある月隈公園は、日田代官所として築城された永山城がありました。本丸跡には、丸石を積み上げた石垣が残っています。伝統的な景観が今なお残る、風情ある町並みを持つ豆田町。一歩踏み出せば天領時代の栄華が感じられます。

発行：平成29年12月
株式会社豊和銀行 総合企画部
〒870-8686 大分市王子中町4番10号
TEL.097-534-2611（代表）